



小藪侃一郎議員

**質問** まず全国茶品評会に出品された皆様に敬意を表すものでございます。

昨年来の経済不況は茶業界にも影響し、どのように捉えているかお伺いします。

**町長** 前年比生葉生産数量88%取引単価90%荒茶量91%と昨年より金額、数量共厳しい状況です。臨機応変に生産できた茶工場は前年比で反動が少ないと思われまます。今後、強い農業づくり交付金事業、地域活性化緊急経済対策事業等を導入して対応していきたいと考えております。

**質問** 幅広い支援体制にするため「川根茶農工商観連携」窓口開設が必要ではないか

**町長** 各農家、地域あるいは経営体の頑張りをもつていかなければならない。現状の窓口あるいは窓口同士が連携をしながら本町茶業を守っていききたい。

**質問** 各製茶工場も懸命に努力されていますが機械の老朽化について本町の対応をお伺いします。

**町長** 国の新規事業国産原材料供給力強化対策事業は①生産者・荒茶加工者・茶商工業者の連携②生産者3戸以上の共同利用③取引量等の増加目標を満たすなどの条件下での農家を支援する事業で関係者へ周知し、要望等があれば支援します。

**質問** 重油タンク防油

提補助事業を検討するお考えはありますか

**町長** 消防署の調査結果も参考に担当課とも協議しながら調査検討したいと考えます。



製茶重油タンク

21年度計上の茶業振興方策の取り組み具合をお伺いします。

**町長** 昨年度の農家意向調査等に基づき「川根本町農業振興計画（仮称）」を策定してまいります。耕作放棄地対策として①耕作放棄地の減少に向けた調査、検討への支援②放

棄地の再生・利用のため③放棄地の用途区分や地目変換への取り組み等支援してまいります。

問

●本町茶業の現状について

- ①川根茶農工商観連携窓口について
- ②製茶工場機械の老朽化対応を
- ③油タンク防油提を補助事業に
- ④茶業振興対策の早期実施を

●地域経済と町財政

- ①20年度実質収支について
- ②地域経済界と
- ③定期会合の設定を

答

○厳しい状況のなか強い農業づくりに対応

- ①各窓口と連携茶業を守る
- ②要望を協議し支援
- ③担当課と協議検討する
- ④「川根本町農業振興計画（仮称）」策定

○中長期的には余力は必要

- ①純繰越金は経済対応や新たな投資に向ける
- ②実施の方向で検討する

す。20年度決算見込みについてお伺いします。

**町長** 歳入合計は59億1千500万円、歳出合計55億9千400万円を繰越事業3千700万円を控除すると2億8千300万円。純繰越金となります。20年度のみ「実質単年度収支」は1億4千600万円の赤字となります。歳入では普通交付税1億4千600万円増額、特別交付税3千400万円増額となり財政町政基金、まちづくり基金等取り崩しを抑えることができまます。歳出は事業執行における入札差金や経費節減によるものであります。

**質問** まだまだ行政水準の向上・住民負担の軽減に使えたのではな

**町長** 20年度においては地方交付税等の増加や人件費等の削減並びに国の補正により充当率の高い補助事業が多く、一般財源を削減できたことにより実質収支が大きく赤字となります。今後急速に地域経済が発展するとは思えませんので余力は緊急的な対応として残すことも必要。無駄を省きながら、新たな投資に向けてまいります。

**質問** 町経済界と定期会合の設定のお考えはあるかお伺いします。

**町長** より綿密に商事情勢に対応が必要で御理解を得て実施の方向で検討させて頂きまます。